※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 2003 |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | （学）国語演習 | 単位数 | １単位 | 年次 | ２年次後期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | プログレス総演習古文「四訂版」（いいずな） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な文章に触れ、これまで身に着けてきた「読む力」と「書く力」を身につける。
・問題を解くだけでなく、本文中にわからない語句があれば調べたり、講義の内容をメモしたりという積極的な姿勢を持ちましょう。
・わからない、難しいと感じる問題についても、粘り強く取り組み、何らかの解答を出すようにしましょう。
・解説をよく聞き、なぜ自分は間違えたのか、次はどうすればよいのかをしっかり考えましょう。この時間が、「読む力」「書く力」の向上につながります。

## 2　学習の到達目標

・言葉を論理的に分析し、理解する力を身につける。
・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたり伝えたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して文化を身につける態度を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。 | 「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養おうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 後期（10月～2月） | 文章の構成や論の展開に注意しながら、内容を的確に捉える<br>［教材］<br>「今昔物語集」<br>「蜻蛉日記」<br>「平家物語」<br>「枕草子」<br>「沙石集」<br>「今鏡」<br><br>「捜神記」<br>「澠水燕談録」<br>「韓非子」<br>「潜書」 | a:古典特有の語彙、文法を理解している。<br>b:作品のあらすじや、登場人物の関係、筆者の主張点を踏まえて解釈することが出来る。<br>c:内容を自身で整理しまとめようとしている。 | 問題集<br>定期考査 | 問題集<br>定期考査 | 振り返りシート<br>要約ノート |
| | 作品の表現を吟味しながら、主題について考える。<br>［教材］<br>「平家物語」<br>「枕草子」<br>「増鏡」<br>「古今著聞集」<br>「栄花物語」<br>「更級日記」<br><br>「十八史略」<br>「世説新語補」<br>「十八史略」<br>「世説新語」 | a:古典特有の語彙、文法を理解し、作品の背景となる歴史や文化についての知識を身に着けている。<br>b:作品のあらすじや、登場人物の関係、筆者の主張点を踏まえて解釈することが出来る。<br>作品が書かれた歴史や文化を踏まえて解釈し、現代の言語生活や文化と結び付けて理解することが出来る。<br>c:内容を自身で整理しまとめようとしている。<br>異なる古典作品を比較し、その共通点や相違点を説明出来る。 | 問題集<br>定期考査 | 問題集<br>定期考査 | 振り返りシート<br>要約ノート |

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　３　）時間

・読むこと　…　（　３２　）時間